



王桜中だより

第2号 令和6年5月

北区立王子桜中学校
校長 吉原 健



開かれた心を育む

校長 吉原 健

「北区子どもの権利と幸せに関する条例」が制定され、今年4月1日から施行されました。『北区ニュース』にも掲載されたのでご覧になった方も多いと思います。新しい条例の理念や目的を踏まえ、学校においても「子どもの意見や気持ちを大切に」学校づくりが求められています。この条例の前文には、「子どもたちからのメッセージ」があり、「大人のみなさんには～してほしいです」という願いが書かれています。前文の一部を抜粋してみます…。

- ・私たち子どもが生まれながらに持っている、育つ権利や生きる権利をはじめとした、様々な権利を大切にしてほしいです。
- ・私たち子どもが失敗をおそれず、くり返し挑戦できる環境をつくってほしいです。
- ・子ども同士や大人と子どもで共に笑い合える時間を作ってほしいです。
- ・私たち子どもが心からやりたいことを自由に行おうとする姿勢を温かく見守り、一人ひとりに合わせた応援をしてほしいです。
- ・私たち子どもの話にしっかりと耳をかたむけ、ありのままの私たちを受け入れてほしいです。

これからの授業づくりや学級づくりでは、この条例の目的を具現化する取組を行っていきたいと考えています。そのために本校では、次の3つの視点を大切にしていきます。

まず一つ目は、「生徒の自己肯定感を高める」ことです。

これは授業や教室の中で、生徒が「自分は一人の人間として大切にされている」という実感をもてるようにすることです。一見つまらぬと思われるような思いつきでも自由に言える教室の雰囲気、お互いが友達の考えを認め合い、できるだけその考えを助けて育てていこうとする教室の雰囲気…こうした「開かれた心」を生徒も教師ももてる環境作りを大切にしたいです。

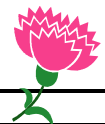
二つ目は、「生徒同士、生徒と教師の共感的な人間関係を育む」ことです。

教室の中で失敗や間違いを恐れず、むしろなぜそう思ったのかをお互いに関心を抱き合うような関係づくりを行っていききたいです。試行錯誤のための時間やくり返しの挑戦が保障され、お互いに“聴き合える”関係が築けたら素晴らしいと思います。

三つ目は、「生徒自身による自己決定の場を促す」ことです。

教師がすべて与えてしまうのではなく、生徒が進んで自分の意見を述べたり、生徒同士がじっくり対話したり、自分に合った課題や学習方法を自ら選択できる機会を保障していくことで、一人一人の学びへの探究を促すことにつながります。こうした主体的な学び方を身に付けることは中学校教育の大切な使命と考えます。今年度は、生徒たちが心から望んでいる学校や教室を実現していくための努力を一步ずつ進めていきたいと思っています。

今月の行事予定



日	曜日	5月行事予定	日	曜日	5月行事予定
1	水	開校記念日(授業日) 部活動なし	22	水	体育祭予行 職員会議
2	木	身体計測(体育着登校) 部活再登校	23	木	予行予備日 生徒係会
7	火	1学期委員認証式 小中引渡訓練	24	金	前日準備(午後) 部活動なし
8	水	職員会議	25	土	第20回体育祭
13	月	全校朝礼 体育祭準備期間始	27	月	振替休業日
14	火	腎臓検診1次予備日 生徒係会	28	火	体育祭予備日
15	水	校内研修会 部活動再登校16時	29	水	サブファミリー研修 部活動再登校
16	木	歯科検診 専門委員会	30	木	生徒総会リハーサル
17	金	中央委員会	31	金	生徒総会 3年修学旅行前日指導
20	月	生徒会朝礼 生徒係会 教育実習始			

子どもの責任にしない…



子どもの「問題行動」を「子どもだけの責任にしない」という私たち教師の姿勢が大切であり、「支援を変えてほしい」という子どもからの〈切実なサイン〉と受け止める必要があります。しかし、ともすると教師や親は子どもに対して、「どうしてこれしかできないの?」「何度言ったら分かるの?」「いつになったらできるの?」という見方に陥る傾向はないでしょうか。注意や叱責などつついネガティブな声掛けが先行してしまうのです。

しかし、子どもの立場に立てば、「あなたは絵はうまいけど、落ち着きがない!」と言われるのと、「あなたは落ち着きはないけど、絵はとても上手ね!」と言われるのでは、まったく受け止め方が違うのではないのでしょうか? ポジティブな見方に転換することはなかなか難しいですが、「ここまでできたね!」「よく頑張ったね!」「あきらめずにもう一度チャレンジしてみたら?」と肯定や承認の言葉掛けを増やしていきたいと思えます。

子どもの「できること・良いところ」を支えることは、どのような行動をする子どもにとっても、誤ることのない支援のあり方だと考えます。「もし自分がその生徒だったら、どうしてほしいだろう?」という教師としての自らへの問い返しを大切にしていきたいと思えます。

参考図書:「通常学級の『特別』ではない支援教育(佐藤慎二著)」東洋館出版社

新しい学級づくりが進んでいます…

新年度の新しいクラスづくりが進んでいます…各クラスのユニークな学級目標を紹介します!

※1年生の学級目標は、次回6月号でご紹介します。少しお待ちください。

2年1組(佐藤学級)	天輝一品	
2年2組(袖山学級)	雨のち晴れ	
2年3組(長谷川学級)	ひまわり	
2年4組(佐竹学級)	奇跡に限界はない <i>The miracle is no limit</i>	
2年7組(國分学級)	先輩としての自覚をもち、他人の意見を認め合うクラス	
3年1組(小澤学級)	のりのり ぶっちぎり ちゃんすを生かせ 3年1組!!	
3年2組(本間学級)	怒力できる 楽しめる 笑顔溢れる 盛り上がる 運を味方につける→ドラエモン	
3年3組(佐々木学級)	さっぱり さわやか きそく正しく 最高学年 か(が)んばり おだやかに りりしい おでんエリート集団	
3年4組(迫田学級)	4組(迫田)憲法 1.けじめをつけるべし 1.ケンカのないクラスにするべし 1.学校生活を大切にするべし 1.何事にも全力であるべし 1.笑顔でにこにこで青春するべし	
3年7組(小林剛学級)	勇敢かつメリハリがあり、後輩の見本になれる3年生	

お知らせ

○本校のスクールコーディネーターとして20年の長きにわたりご支援いただいた宮川淳子さんに代わり、今年度から小林英美さん、小野あゆみさん、秋葉かおりさんの3人にスクールコーディネーターとしてご支援いただけることになりました。先日の朝礼でも全校生徒に紹介しました。学校支援体制の一層の充実を期待しています。



○先日お知らせしましたように、今年度の部活動保護者会については例年と開催方式を変更し、5月7日(火)~5月19日(日)の期間内で、各部活動ごとに日時を設定して開催します。学校全体の基本方針やきまりの説明の後、各部活動の運営方針や活動計画等の説明を行います。ぜひ多くの保護者の方にご出席いただければ幸いです。

○今年度夏休み期間中に給食室の拡張工事を予定しています。工事期間が8月末までのため、9月1週目は給食準備作業等にあてる予定であり、そのため9月1週目につきましては、全生徒・教職員に**お弁当**が提供される予定です。あらかじめご了承ください。



○5月の連休が終わると、5月25日(土)の**体育祭**に向けて、本格的に練習がスタートします。5月13日(月)からは体育祭準備期間に入ります。熱中症予防のため水筒持参によるこまめな水分補給等にも配慮してまいります。ご家庭のご協力をお願いいたします。

○東京都と北区の**スクールカウンセラー**が原則週1回ずつ勤務しています。お子様のことでご心配がありましたら、お気軽にご連絡ください。